



2023年12月期
決算説明会資料

2024年2月26日

株式会社テノ。ホールディングス

(証券コード：7037)

teno.
HOLDINGS

<u>Section 1</u>	決算概要 (全社)	2023年12月期
<u>Section 2</u>	決算概要 (セグメント別)	2023年12月期
<u>Section 3</u>	業績予想	2024年12月期
<u>Section 4</u>	中期経営計画と長期ビジョン	
<u>Section 5</u>	Appendix	

Section 1

決算概要
2023年12月期
(全社)

増収・増益

（単位：百万円）	2022/12月期	2023/12月期	前年増減比（%）	前年増減額
売上高	12,128	14,557	+20.0	+2,428
売上原価	10,384	12,375	+19.2	+1,991
販管費	1,589	1,994	+25.4	+404
営業利益	154	187	+21.6	+33
経常利益	156	194	+24.3	+38
当期純利益	▲27	100	—	+127

1

売上高

- 株式会社テノ、コーポレーションが当期に開設した公的保育施設と前期4月開設の施設（公的保育・介護）の売上寄与による増収
- 株式会社フォルテの通期寄与による増収
- 株式会社ホームメイドクッキングの売上寄与による増収
- セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社の売上寄与による増収（9カ月分計上）

2

費用

- 保育施設におけると労務費及び経費（給食費・水道光熱費等変動費）、及び新規開設園の地代家賃等が増加
- 株式会社ホームメイドクッキングの費用増加、のれん償却費の発生
- セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社の費用増加（9カ月分計上）、のれん償却費の発生、及び株式取得に係る一過性の費用計上
- 株式会社テノ、コーポレーションと株式会社テノ、サポートの合併による法人税等の減少（当期純利益に貢献）

(単位：百万円)	2022年12月期	2023年12月期	増減比 (%)	増減額
売上高	12,128	14,557	+20.0	+2,428
売上原価	10,384	12,375	+19.2	+1,991
売上総利益	1,744	2,181	+25.1	+437
販管費	1,589	1,994	+25.4	+404
営業利益	154	187	+21.6	+33
営業外収益	35	37	+5.9	+2
営業外費用	32	30	▲7.9	▲2
経常利益	156	194	+24.3	+38
当期純利益	▲27	100	—	+127

連結貸借対照表概要

(単位：百万円)	2022年12月期	2023年12月期	増減額
流動資産	3,989	4,094	+104
現金及び預金	2,174	1,925	▲248
売掛金及び契約資産	1,147	1,194	+47
固定資産	5,333	5,432	+99
うち有形固定資産	1,728	1,705	▲22
うち無形固定資産	1,865	1,915	+50
うち投資その他の資産	1,739	1,811	+72
資産合計	9,323	9,527	+204
流動負債	3,739	4,136	+396
うち短期借入金	1,140	1,339	+199
うち1年内返済予定長期借入金	652	569	▲82
うち未払金	801	909	+108
固定負債	3,402	3,148	▲254
うち長期借入金	3,137	2,855	▲281
純資産	2,180	2,242	+62
負債・純資産合計	9,323	9,527	+204

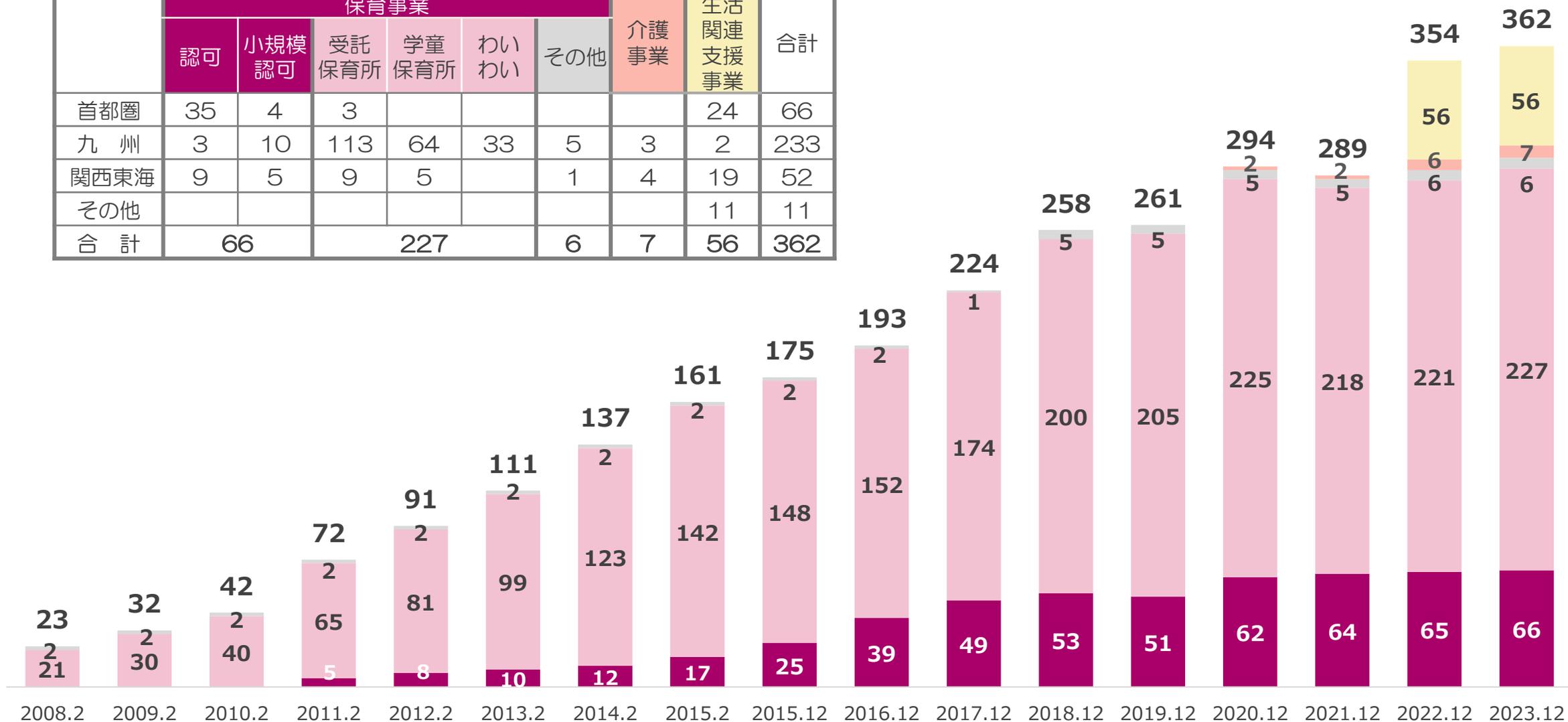
連結キャッシュ・フロー計算書概要

(単位：百万円)	2022年12月期	2023年12月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	297	324	+26
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲967	▲367	+716
(フリー・キャッシュ・フロー)	▲670	▲42	+627
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,037	▲208	▲1,245
現金及び現金同等物の増減	+367	▲250	▲618
現金及び現金同等物の期首残高	1,745	2,113	+367
現金及び現金同等物の期末残高	2,113	1,862	▲250

運営施設数の推移（セグメント別）

- 首都圏、九州、関西東海、全国各地に保育施設、介護施設及び料理教室を運営
 <2023年12月末 地域別施設別明細表>

	保育事業						介護事業	生活関連支援事業	合計
	認可	小規模認可	受託保育所	学童保育所	わいわい	その他			
首都圏	35	4	3					24	66
九州	3	10	113	64	33	5	3	2	233
関西東海	9	5	9	5		1	4	19	52
その他								11	11
合計	66		227			6	7	56	362



施策（2023年12月期）

施策		内容	進捗状況及び結果
主力事業の強化	保育事業 (公的保育)	<p>【新規開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の新規開設 2023年4月1日に1施設 <p>【既存施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材定着率向上のための取り組み継続（チームエンゲージメントセンター） 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に予定通り開設（ほっぺるランド相生橋つくだ） ・職員同士の交流の場づくり、社内広報の実施
	保育事業 (受託保育)	<p>【新規開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規受託の営業活動 目標10施設 <p>【既存施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な職場作りの推進 ・人材定着率向上のための取り組み継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・受託保育所7施設、学童保育所等11支援単位受託（枚方市、中間市、筑后市から新規受託） ・安全計画の見直しを実施し、運用中 ・社内広報の実施
新規事業	介護事業	<p>【新規開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規開設へ向けた取り組み <p>【既存施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設への訪問看護サービス提供 ・お客様へのサービスの質の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年中に1施設開設予定（8月開設予定） ・一部施設で導入し、検証中 ・サービスの質向上に向けた施策を検討中
新規事業	生活関連 支援事業	<p>【料理教室】 & 【少額短期保険】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームメイドクッキング、セーフティージャパン・リスクマネジメントに関するPMIの実施とグループシナジーの創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームメイドクッキング： 保育施設と料理教室の協業による取り組みを開始 ・セーフティージャパン・リスクマネジメント： 新しい保険として、高齢者向け傷害保険を検討中
新規事業開拓	M&A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業拡大へ向けた新たなM&Aへの取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社ウイッシュの子会社化を実施（2023年10月SPA締結、2024年2月子会社化完了）
その他	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・テノ、コーポレーション、テノ、サポートの吸収合併による業務の効率化 ・人事評価制度の再構築による従業員満足度向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日合併 それぞれの事業を集約した部署を設置 ・本社職員に対して新人事評価制度の運用開始

（2023年1月26日）

新規事業

セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社の株式取得

（子会社化）

（持株比率：100%）

（目的） 女性のライフステージに応じた保険サービスの開発・提供



【事業内容】

- 賃貸住宅向けの少額短期保険の開発・販売

【特徴】

- 自社内で商品開発を行える機能を有しており、顧客のニーズに合わせた独自の保険の開発が可能
- 勃興期から少額短期保険事業を行ってきたブランドカ
- 500を超える販売代理店網を有する





（2023年4月1日）

新規オープン

ほっぺるランド相生橋つくだ



■基本情報

名称：ほっぺるランド相生橋つくだ

開園日：2023年4月1日

所在地：東京都中央区三丁目2番

定員数：108名（1歳児18名、2歳児21名、3～5歳児各23名）

最寄り駅：東京メトロ有楽町線・都営大江戸線 月島駅（徒歩2分）

■保育理念

子どもには、安全な環境の中で身体的・精神的発達が得られる養護と教育が一体となった保育を提供します。

家庭のワークライフバランスを実現できる育児支援を行い、地域の人々や関係各機関と連携し、未来を担う子どもの成長を共に喜び合います。

■保育目標

○生きる力を育てる

○思いやりのある豊かな心と個性を育む

○友だちと協力する力を養う

○豊かな想像力や創造力、好奇心を育む

- 当社の100%子会社である株式会社テノ。コーポレーションを存続会社とし、同じく当社の100%子会社である株式会社テノ。サポートを消滅会社とする吸収合併を行いました。

目的

企業構造のスリム化により経営資源の有効活用と業務効率改善を行い、事業基盤の強化を図ること。 （2023年4月1日合併）

teno. CORPORATION

全国展開の認可保育サービス
【ほっぺるランド】他



小規模認可保育サービス
【ほっぺるランド】他



teno. SUPPORT

【院内・事業所内 保育所】



【学童保育所等】



ベビーシッター
サービス



介護サービス



保活事業



テノスクール(tenoSCHOOL)



人材派遣サービス



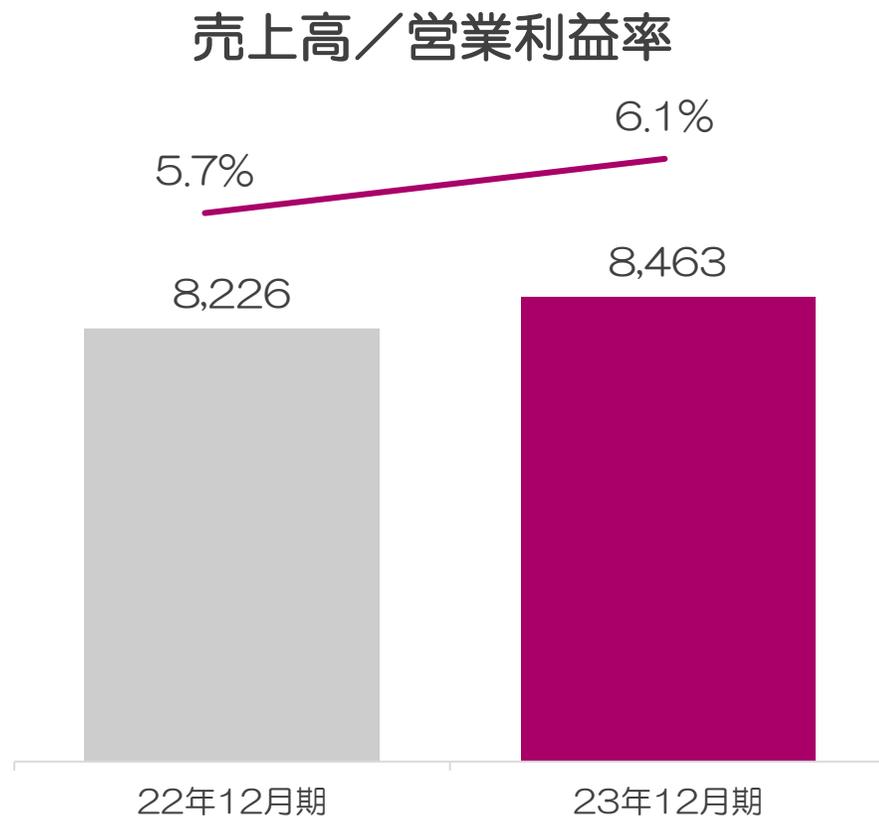
結婚相談所事業



Section2

決算概要
2023年12月期
(セグメント別)

(単位：百万円)	22年12月期	23年12月期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	11,129	11,427	+298	+2.7%
セグメント利益	636	694	+58	+9.1%
同利益率	5.7%	6.1%	—	—



<ポイント>

- 2023年12月期より、これまでの報告セグメントであった「公的保育事業」、「受託保育事業」及び「その他の一部」を集約し「保育事業」として区分し表示。
- 収入面は、新規開設及び前年4月に開設した施設の売上寄与、また保育士の処遇改善のための補助金収入増加により増収。
- 費用面は、売上原価内の労務費及び経費（給食費・水道光熱費等変動費）増加。
- 変更前の報告セグメントの売上高の数値を参考記載
 公的保育事業 7,755百万円（前期：7,528百万円）
 受託保育事業 3,369百万円（前期：3,346百万円）

セグメント別【保育事業（詳細）】

保育事業の内訳として、公的保育と受託保育の業績を参考記載

【公的保育】 増収・増益

(単位：百万円)	22年12月期	23年12月期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	7,528	7,755	+226	+3.0%
セグメント利益	577	689	+112	+19.5%
同利益率	7.7%	8.9%	—	—

- 収入面は、新規開設及び前年4月に開設した施設の売上寄与、また保育士の処遇改善のための補助金収入増加により増収。
- 費用面では、処遇改善のための労務費が増加、経費（水道光熱費、給食費等の変動費、新規開設の保育園の地代家賃）が増加。採用関連費等の販管費が減少。

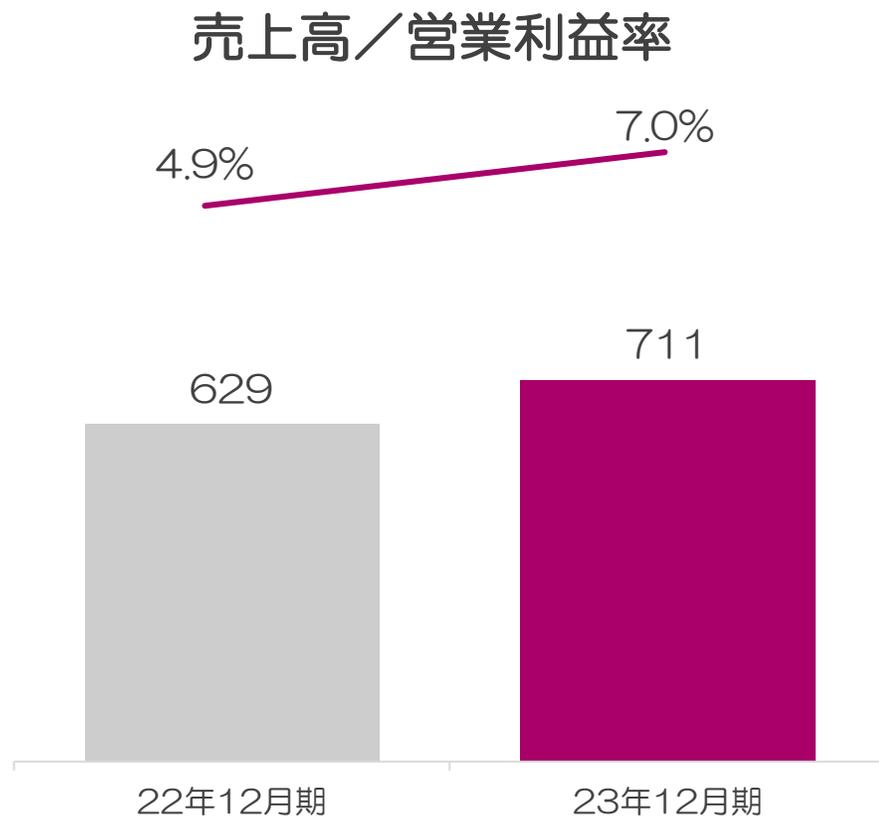
【受託保育】 増収・減益

(単位：百万円)	22年12月期	23年12月期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	3,346	3,369	+22	+0.7%
セグメント利益	59	13	▲45	▲76.6%
同利益率	1.8%	0.4%	—	—

- 収入面は、受託終了となった施設と新規受託となった施設があり、売上は横ばい。
- 4月より6施設の保育所と、11施設の学童保育所等を受託。7月より1施設の保育所を受託。学童保育所は関西初となる枚方市から受託した。
- 費用面では、18施設の新規開設費用が発生したことが要因となり利益を圧迫。また、採用関連費用等の販管費が増加した。

※保育事業のうち、上表にはその他に含まれていた6施設の業績は含んでおりません

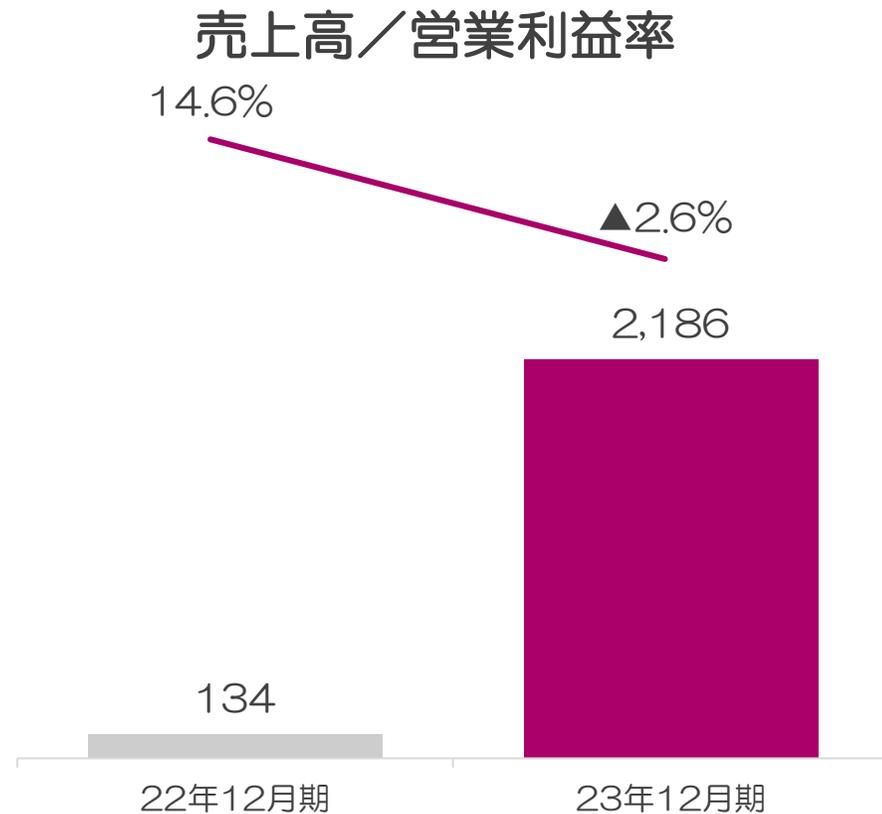
(単位：百万円)	22年12月期	23年12月期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	629	711	+82	+13.0%
セグメント利益	30	49	+19	+63.5%
同利益率	4.9%	7.0%	—	—



<ポイント>

- 2023年12月期より、フォルテが運営する介護施設（サ高住、住宅型有料老人ホーム）に、テノ・コーポレーション（合併以前はテノ・サポート）が運営する介護施設（デイサービス）を加えた数値にて表示。
- 収入面は、フォルテの通期寄与と前年4月に開設したデイサービスの売上が貢献し、増収。
- 利益面は、デイサービスにおいて前期に比べて施設の稼働状況が改善したこと、経費を抑制したこと等により増益。
- フォルテは、2024年以降新規開設を数施設計画しており、予定通りの開設が遂行できるよう取組み中。

(単位：百万円)	22年12月期	23年12月期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	134	2,186	+2,051	+1521.2%
セグメント利益	19	▲56	▲76	—
同利益率	14.6%	▲2.6%	—	—



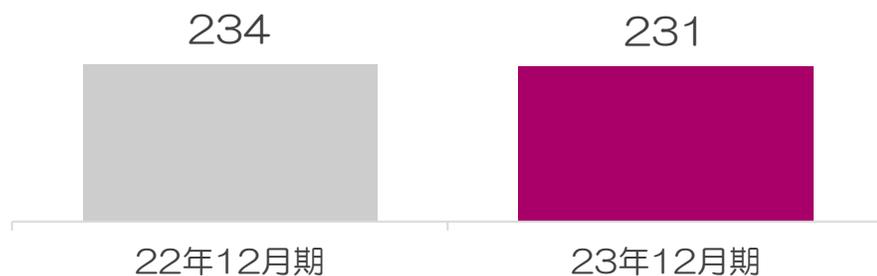
<ポイント>

- 2023年12月期より、セーフティージャパン・リスクマネジメント（2023年1月子会社化）の経営成績を生活関連支援事業に含め表示。決算期の相違等により、9か月分（1～9月）の業績をPLへ反映。
- ホームメイドクッキングは営業赤字及びセーフティージャパン・リスクマネジメントは営業黒字。のれん償却費を含めるとセグメント利益は赤字となった。
- ホームメイドクッキングの営業赤字については、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へ移行後も、料理教室の稼働状況が依然の水準に戻りきれていないことによる。

(単位：百万円)	22年12月期	23年12月期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	234	231	▲3	▲1.4%
セグメント利益	▲6	1	+8	—
同利益率	▲0.3%	0.8%	—	—

売上高／営業利益率

▲0.3% 0.8%

<ポイント>

■2023年12月期より、その他に区分していた認可外保育所や地域型保育事業施設は、「保育事業」へ集約。また、介護施設（デイサービス）は、「介護事業」へ集約。その結果、その他の主な事業内容は下記の通り。

保育人材の派遣紹介、ベビーシッターサービス、テノスクールの、結婚相談所事業、保活事業、イベント託児サービス、産前・産後ヘルプ事業

■テノスクールが受託好調により売上改善も、その他の事業で売上が減少。一方で、販管費の削減により利益が改善した。

Section 3

業績予想 2024年12月期

積極投資による 増収・減益予想

(単位：百万円)	2023年 12月期 実績	2024年 12月期 予想	増減率 (%)	増減額	【成長に向けた事業投資】
売上高	14,557	15,880	+9.1	+1,322	保育事業 営業利益影響額 ▲150M 2024年4月開設予定の KDI福岡アイランドシティへの投資、立上 げ費用の発生
営業利益	187	155	▲17.2	▲32	
経常利益	194	138	▲28.8	▲56	介護事業 営業利益影響額 ▲50M 2024年以降に開設を計画している 介護施設へ向けた投資、立上げ費用の発生
当期純利益※	100	32	▲67.7	▲67	営業利益影響額 ▲50M 2024年2月に取得した株式会社ウイッ シュの株式取得関連費用（及びのれん償 却費の発生）

※親会社株主に帰属する当期純利益

(2024年4月1日開園予定)



バイリンガル幼稚園
Kids Duo
International

新規オープン

KDI福岡アイランドシティ



入園説明会
受付中



■ 基本情報

名称：Kids Duo International福岡アイランドシティ

所在地：福岡県福岡市東区香椎照葉6丁目 7-32

定員数：342名（年少々 72名、年少・年中・年長 各90名）

特徴：「自分力」を育てるを教育理念に、英語教育だけではなく、知育、運動、そしてライフスキルを取得します。また、その知識を活用することで、将来を築く土台の習得を目指します。



バイリンガル幼稚園

英語

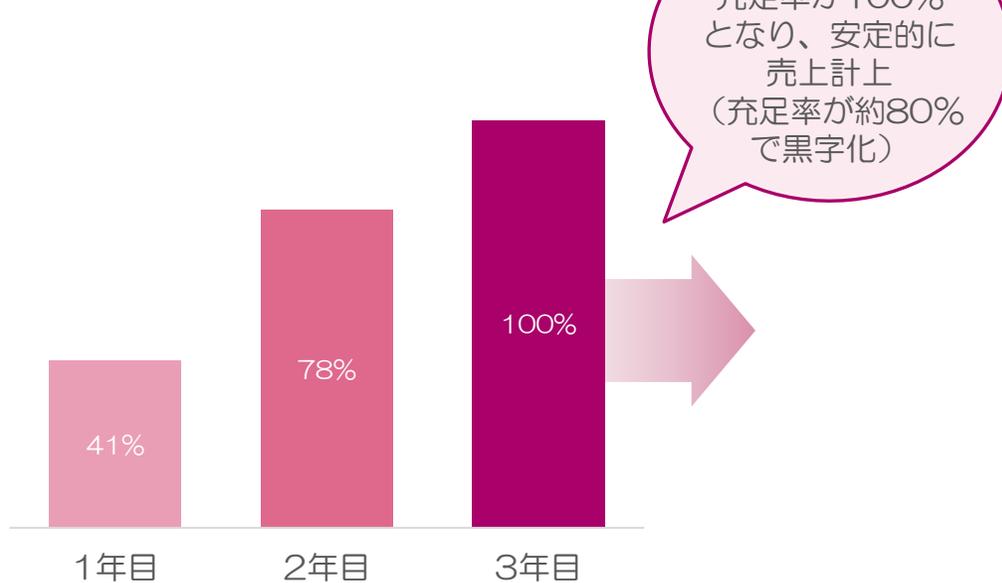
日本語

Kids Duo International
略して“ **KDI** ”と呼んでいます

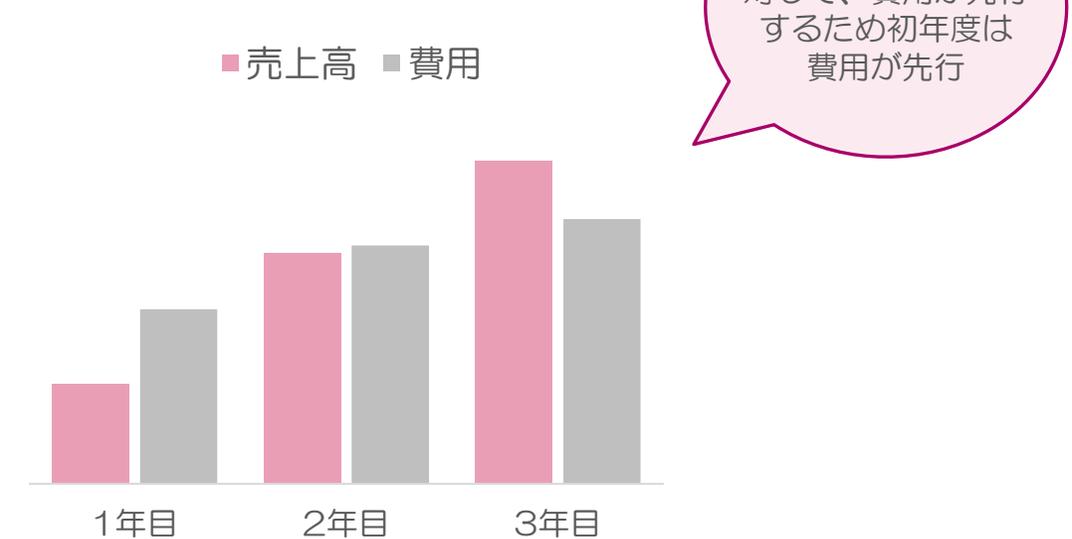
保育機能と教育機能の兼備

定員	342名 12クラス（2歳児：72名、3～5歳児：各90名）
保育所運営スタッフ （定員100%入園時）	園長1名、保育士/バイリンガル 22名、ネイティブ 13名、運動 3名、 ラーニング・音楽・受験 各1名、保育補助2名、事務3名
設備投資	土地・建物（賃貸借契約）、内装費用、FC契約関連費用、システム関連 投資費用
初期費用	採用関連費用、従業員の研修費用（旅費交通費含む）、備品・消耗品等

園児数充足率（計画）
売上は園児の充足率に比例



売上・費用計画
園児が充足する3年目より売上高が
費用を上回り黒字化



2024年8月 住宅型有料老人ホーム「ほっぺるの家」さいたま見沼 新規オープン

住宅型有料老人ホーム

ほっぺるの家
さいたま見沼

運営主体

株式会社フォルテ

住所

埼玉県さいたま市
見沼区堀崎町

施設規模

居室数 54室

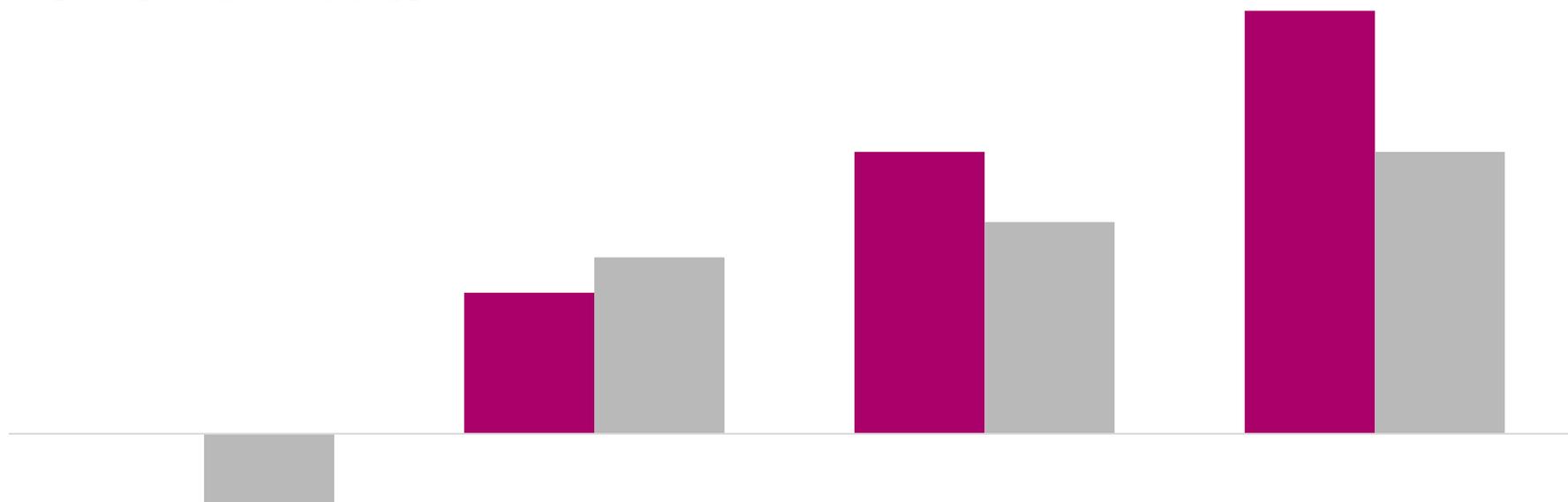


※施設の外観は、イメージ図

新設ホームの収益化推移（年度イメージ図）

開設2年目に黒字化、3年目はほぼ満室稼働になり収益が安定（期待粗利率は20%以上）

【■売上高 ■費用】



開設前

新規開設にかかる費用（50百万円程度）が先行して支出される

職員採用費、広告宣伝費、施設什器備品等

開設1年目

充足率が損益分岐点（70%程度）に達するまでは単月赤字が続く

入居促進活動における費用

開設2年目

充足率が損益分岐点を超え通期にわたって黒字化ができる水準へ近づく

入居促進活動における費用

開設3年目

居室数に対して、ほぼ満室稼働を続き、収益が安定

株式会社ウイッシュの株式取得

(2024年2月1日子会社化完了)

(持株比率：100%)

(目的) 保育事業における療育機能を追加し、保育サービスの強化・拡充



株式会社ウイッシュ子会社化及びウイッシュの100%持株会社である、株式会社子育てサポートを孫会社化いたしました。

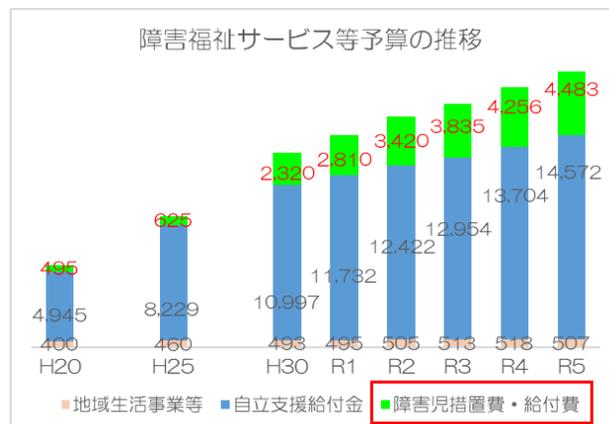
【事業内容】

- ウイッシュ：児童発達支援、放課後等デイサービス等の事業所の運営
- 子育てサポート：児童発達支援、放課後等デイサービス等のフランチャイズ事業
 - ・東海地方で6施設の事業所を運営
 - ・フランチャイズ事業の加盟数は27社（45施設）

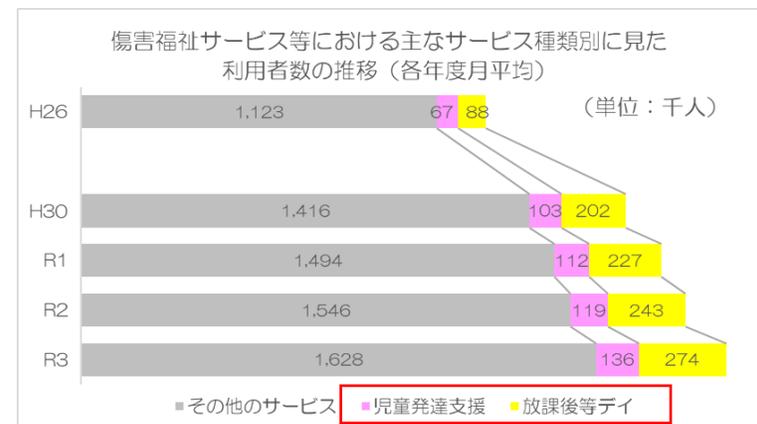


BOWブランドで展開

国の障害福祉サービスにおける障害児向けの予算はR5年まで増加基調



児童発達支援、放課後等デイサービスの利用者はR3年度まで増加基調



児童発達支援・放課後等デイサービスの概要

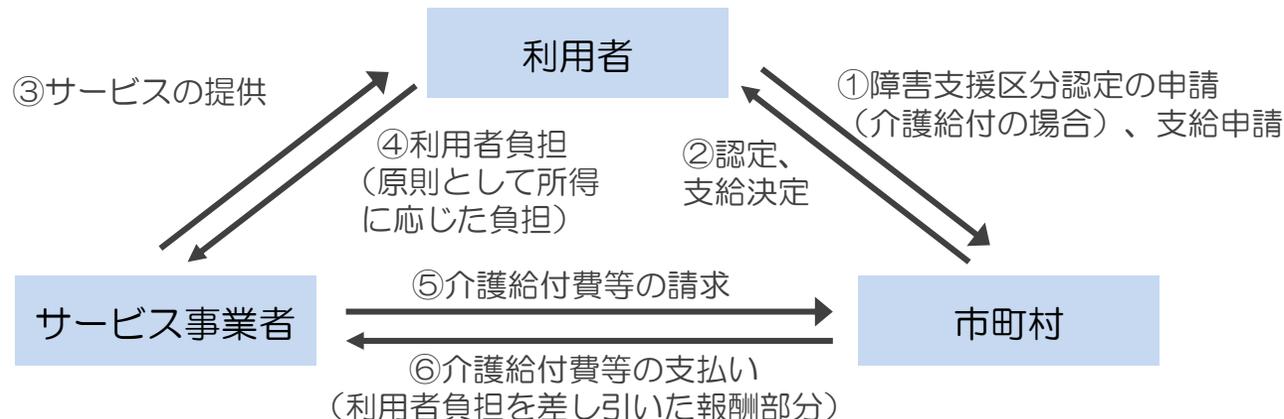
児童発達支援

児童発達支援とは、障害のある子どもに対し、身体的・精神的機能の適正な発達を促し、日常生活及び社会生活を円滑に営めるようにするために行う。

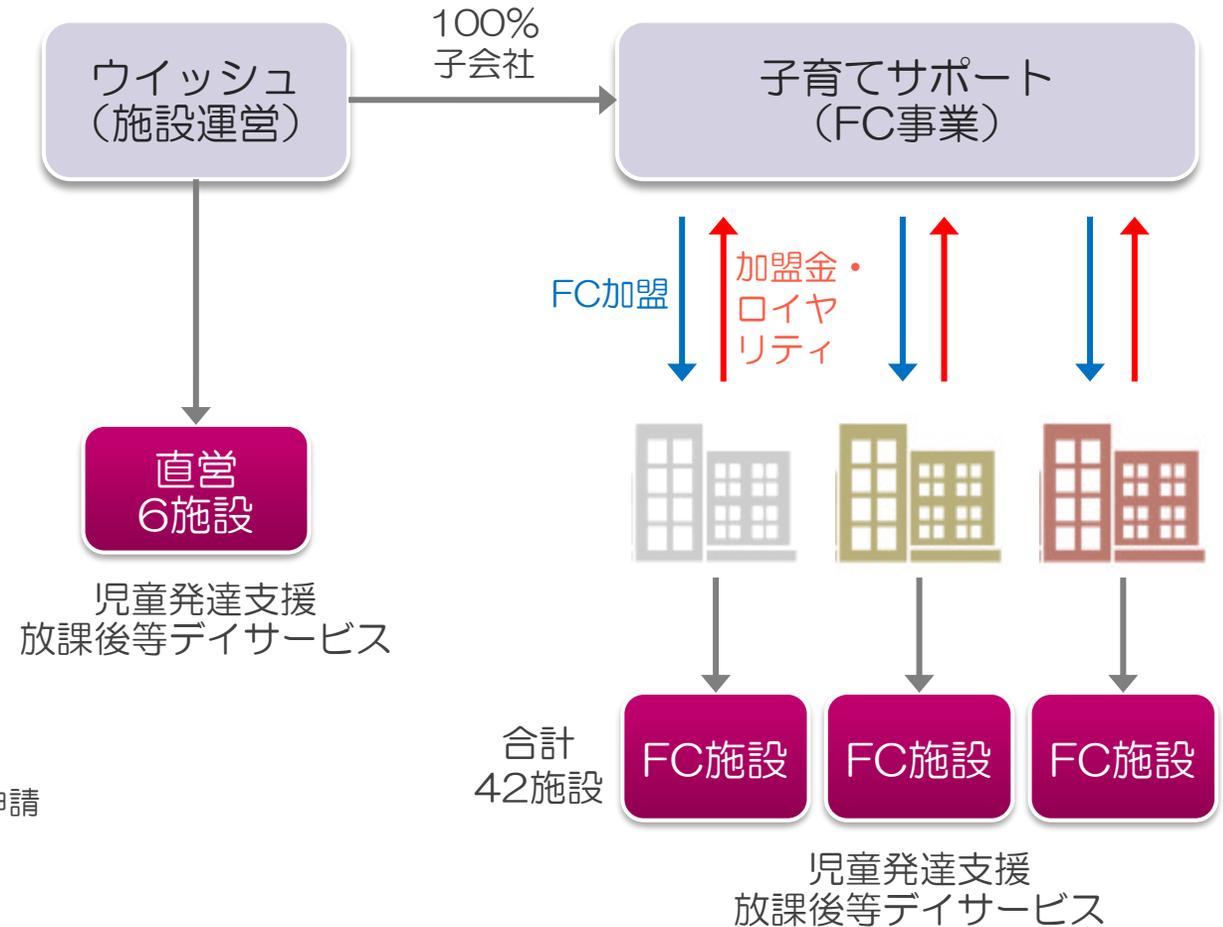
放課後等デイサービス

放課後等デイサービスとは、学校に就学している障害児に、授業の終了後又は休業日に、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与することとされている。

障害福祉サービス等報酬支払の流れ（概要）

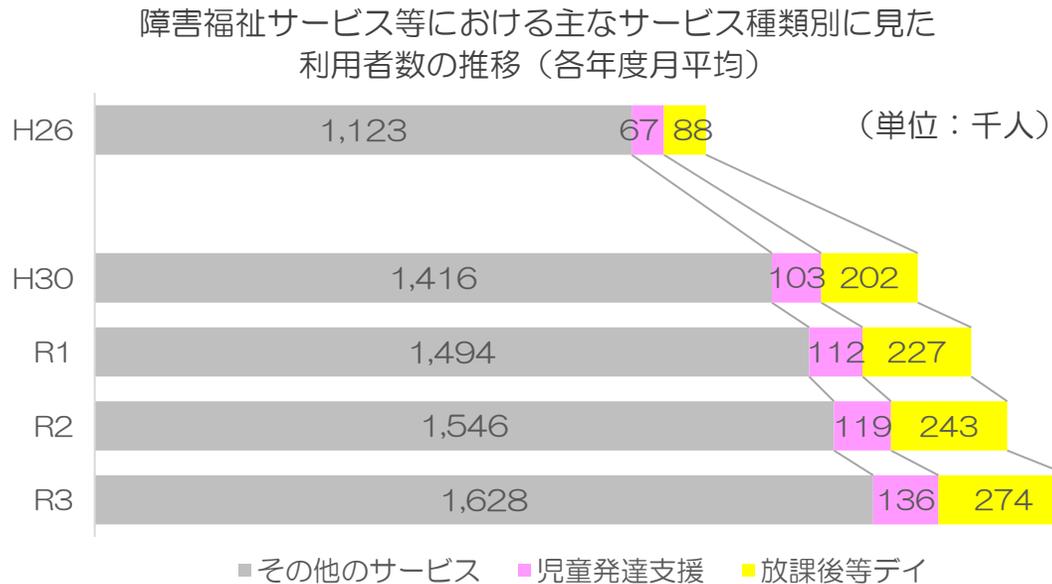


ウィッシュの事業モデル

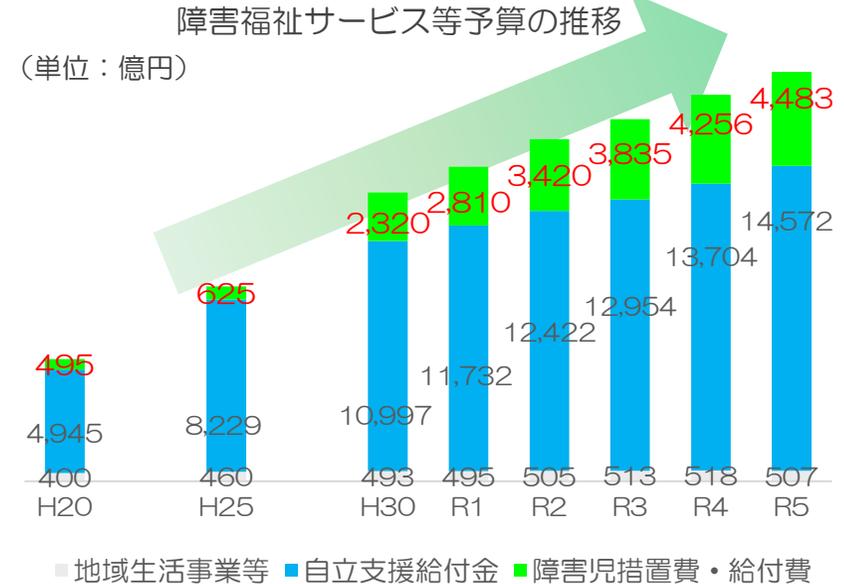


障がい児向けサービスは近年まで利用者数と予算はともに増加が続いている

児童発達支援、放課後等デイサービスの利用者数は、R3年度まで増加基調



国の障害福祉サービスにおける障がい児向けの予算は、R5年まで増加基調



令和6年度障がい福祉サービス等報酬改定に向けて
 ・児童発達支援・放課後等デイサービス事業の2類型化
 厚生労働省第6回障がい児通所支援に関する検討会において児童発達支援・放課後等デイサービス事業を2類型に分類する方向が示唆された。

総合支援型

運営指針にある4つの活動を全て行う（①自立支援と日常生活の充実のための活動、②創作活動、③地域交流の機会の提供、④余暇の提供）
 運営指針にある5領域をカバー（5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会」）全体をカバーした上で特に重点を置くべき内容を決める）

特定プログラム特化型

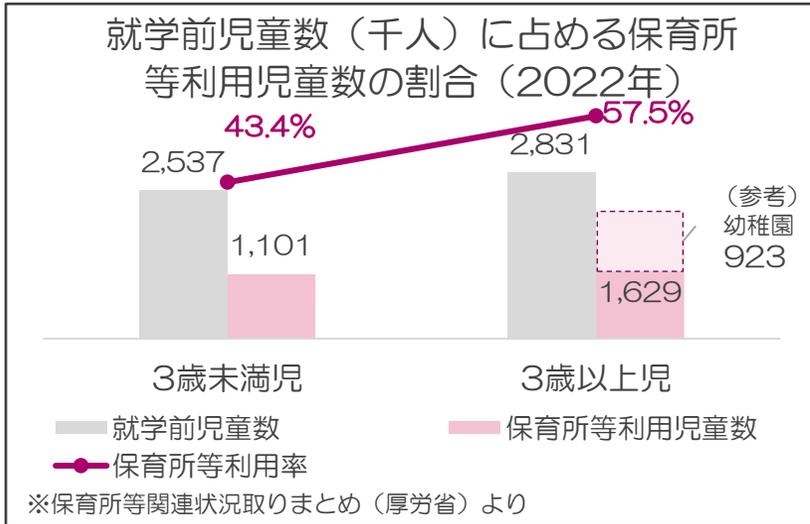
理学療法、作業療法、言語療法による専門性の高い有効な発達支援

施策（2024年12月期）

区分	セグメント別	内容
主力事業の強化	保育事業	<p><公的保育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の質の向上：保育未来研究所Compassの活動を中心に施設毎に運動、文化、音楽、STEAMの特徴を持った選ばれる保育園づくりをし、園児数の増加を計画 ・ 保護者向けサービスの充実：写真販売やおむつのサブスクサービスなどを充実させ、保護者に満足度の高いサービスを提供し売上拡大を計画 <p><受託保育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規受託の営業活動 目標10施設 ・ 現場職員のエンゲージメント向上により人材定着率を向上させ、採用費の削減を目指す ・ 当社グループの採用サイトを立上げ、採用費の削減を目指す <p>【新規開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2024年4月にKid Duo International 福岡アイランドシティを開園、認知度を向上させ早期の充足を目指す
注力事業	介護事業	<p>【新規開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2024年以降に複数施設の新規開設を予定. <p>【既存施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との連携による入居率増加（地域からの紹介数増加） ・ 継続した顧客満足度の向上への取り組みを行い、口コミによる入居者獲得を目指す
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体向けに、スクール事業の「保育士試験取得支援プログラム」の提案
新規事業	生活関連支援事業	<p>【料理教室】 & 【少額短期保険】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームメイドクッキング、セーフティージャパン・リスクマネジメントのグループシナジーの創出
	介護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウィッシュ取得による事業領域の拡大、グループへの療育ノウハウの蓄積
新規事業開拓	M&A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業拡大へ向けた新たなM&Aへの取り組み
その他	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動の強化 ・ システム活用、業務改善による本部販管費の削減

保育事業

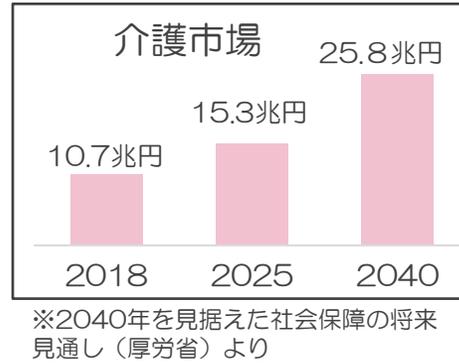
少子化が進む中で、就学前児童数に占める保育所等の利用率は60%未満。一方で、政府は「こども誰でも通園制度」により、保育所を利用できる家庭を拡大させる見通し。



- 保育所の利用者数は拡大すると考え、都市部を中心にM&A等により保育所を増やす。
- 学童利用者も拡大すると見込み、営業活動を強化。

介護事業

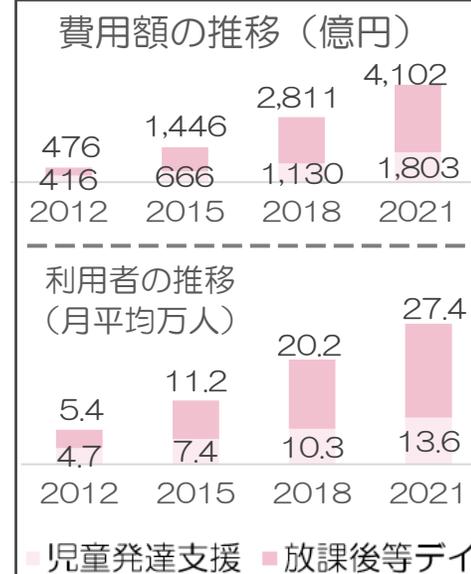
日本では高齢化が進む中、介護市場は成長するとみられており、2040年は2018年の約2.5倍となる見通し。



※児童発達支援・放課後等デイサービスの現状等について（厚労省）より

- 介護は成長市場のため、介護施設数を増やし、また、サービスを拡充させる。
- 療育分野は、保育事業とのシナジーを活かしながら施設数及びFC加盟数の拡大を図る

療育分野は、児童発達支援、放課後等デイサービスは総費用額、利用児童数は増加傾向が続いている。



生活関連支援事業

- 政府は少子化対策として、出産、子育てを支援。働きながら子育てをする女性が増加し、家庭への負担が増加する。
- 介護が必要な高齢者が増え、家庭への負担が増加する。

共働きをしながら、保育や介護を担うために、家庭生活の支援の重要性、必要性が高まることが想定される。

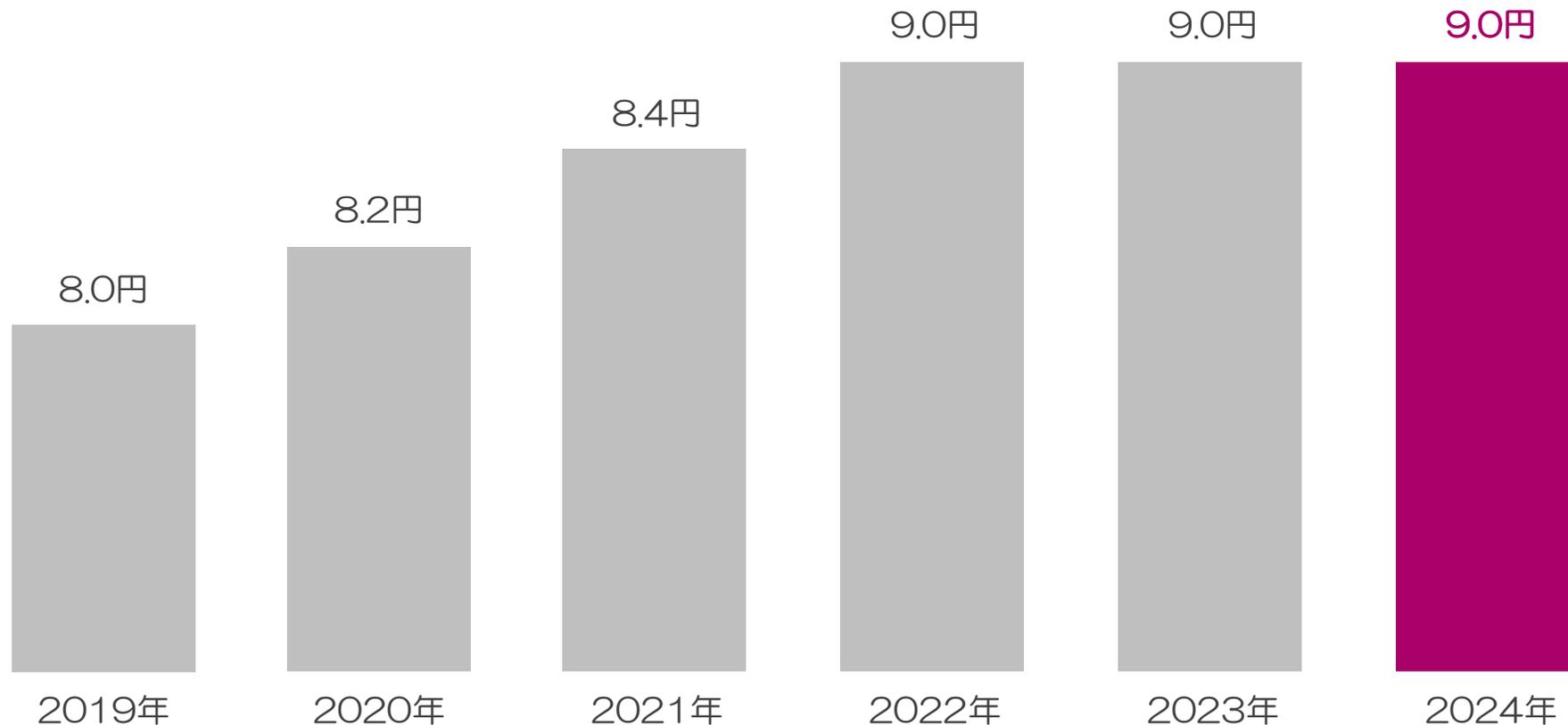
保育事業や介護事業の拡大とあわせて、生活を支援できるサービスを拡充、拡大させる。

利益配分に関する基本方針

当社は、将来の事業計画と財務体質強化のため必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

2024年12月期の配当金について

2024年12月期の配当予想につきましては、1株当たり9.0円で実施予定。



Section 4

中期経営計画と長期ビジョン

わたし、選んで、生きていく。

多様性という言葉が注目を集め、
女性やマイノリティの自由を尊重しようという空気が
いま世の中を包んでいるように思います。

それでも、それでも。

働きながら子育てをするときに。

働きながら介護をするときに。

その選択肢は、自由と言えるほどには、多くはない。
大切な人の存在が働くことの壁になるのは、かなしい。

働きながら、幸せに生きていく、

そのためにこれからの時代に必要なことは、

たくさんの選択肢があることだと思う。

たとえば、職場に保育園があれば、

時短勤務とは、ちがう働き方ができるかもしれない。

教育やしつけにまで関わる海外のナニーのようなサービスが増えれば、
仕事に早く復帰したい女性を助けることができるかもしれない。

ライフステージの中で起こりうるさまざまな出来事に対して、
たくさんの解決の選択肢が当たり前にあること。

そうってはじめて働く女性に本当の自由が訪れる。

誰もが自分らしい働き方や生き方を選択できるようになっていく。

前を向く人の背中を押す。折れそうな心を支える。

さまざまな境遇の人に手を差し伸べること。

それがこれからのテノ。ホールディングスが提供するぬくもりです。

人は、やさしくされたときの手のぬくもりを、
一生おぼえていると思う。

誰もがあたたかい気持ちで生きていける世の中へ。

それがテノ。の願いです。

teno.
HOLDINGS



Purpose

存在意義

(キーメッセージ)

わたし、選んで、生きていく。

「手の」ぬくもりで、安心できる社会を創造する。

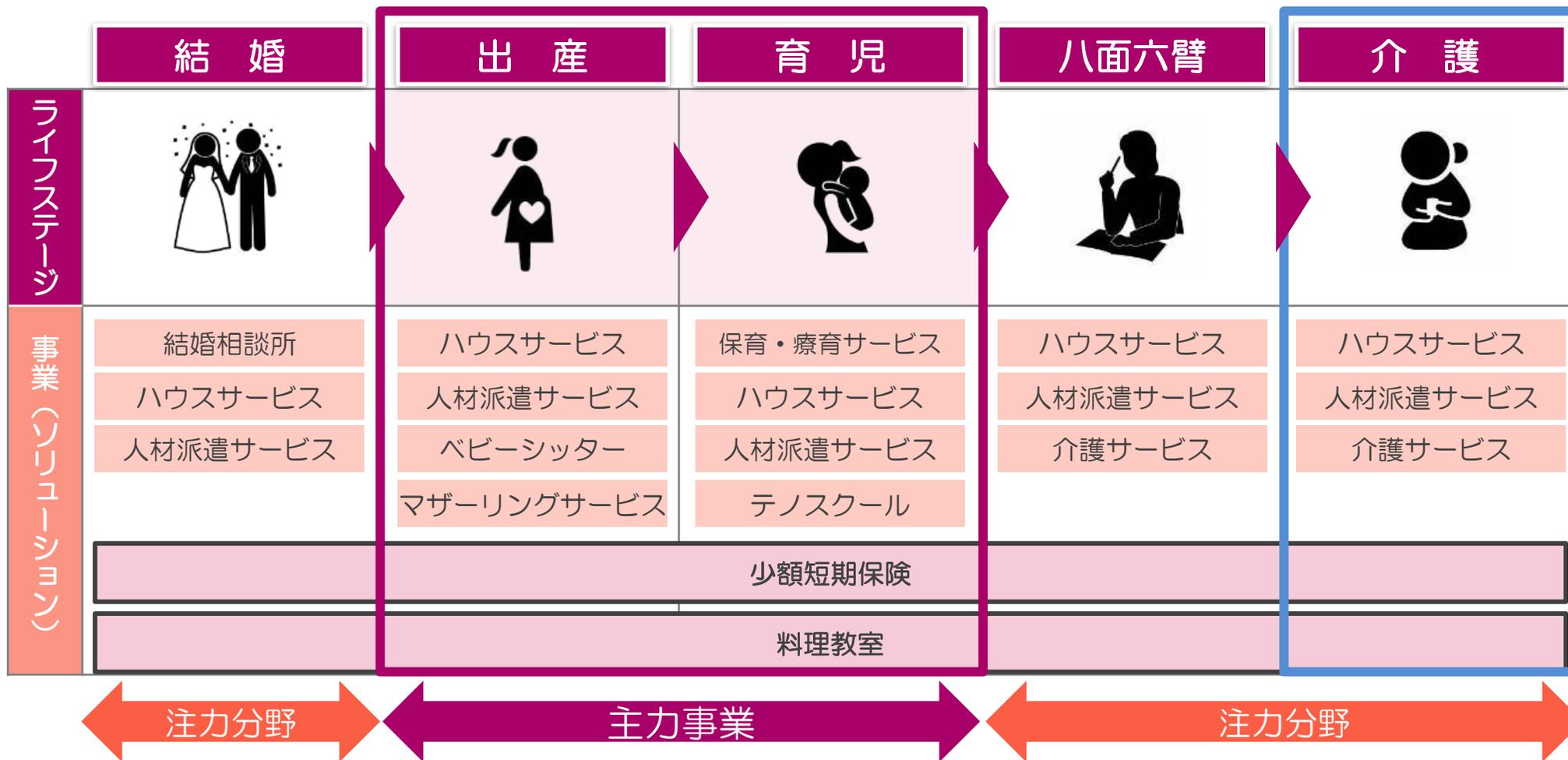
私たちは、女性のライフステージを応援します。
私たちは、相手の立場に立って考えます。
私たちは、コンプライアンスを推進します。
私たちは、事業を通して社会貢献致します。

時代に求められるサービスを提供する
プロフェッショナル集団となり、
働き手にとって最も自己実現が可能な
家庭総合サービスグループを目指す。



女性が活躍する事業展開とは
 育児・家事・介護をしても働き続けられる事業

強化



中期経営計画の基本方針

1. 保育事業（公的保育・受託保育）における事業拡大
（M&Aによる事業拡大も含む）
2. 「サービス品質」を追求し、選ばれる施設づくりを行う
3. 人事制度と人材育成制度の一体改革に着手する
4. 新規事業（保育以外の主力事業へ）を立ち上げる
（将来への投資として、多くの種まきを行う）
5. 介護事業における事業拡大に注力し、保育事業に続く柱の事業へ
成長させる

「 teno VISION 2030 」

時代に求められるサービスを提供するプロフェッショナル集団となり、

働き手にとって最も自己実現が可能な家庭総合サービスグループを目指す。

働き手視点

- >適切な運営で、心に余裕をもって勤務可能
- >グループ全体の収益が高いため、処遇は他社よりも高く設定されている
- >客観的な評価体系、しっかりした人事制度が構築されており、やりがいを感じる
- >人材育成体系が整っており、自己研鑽できる
- >グループ内の職種・働き方が多様で、自身の現状に合った働き方が選択できる

ビジョンの
実現により、
選ばれる
企業集団へ

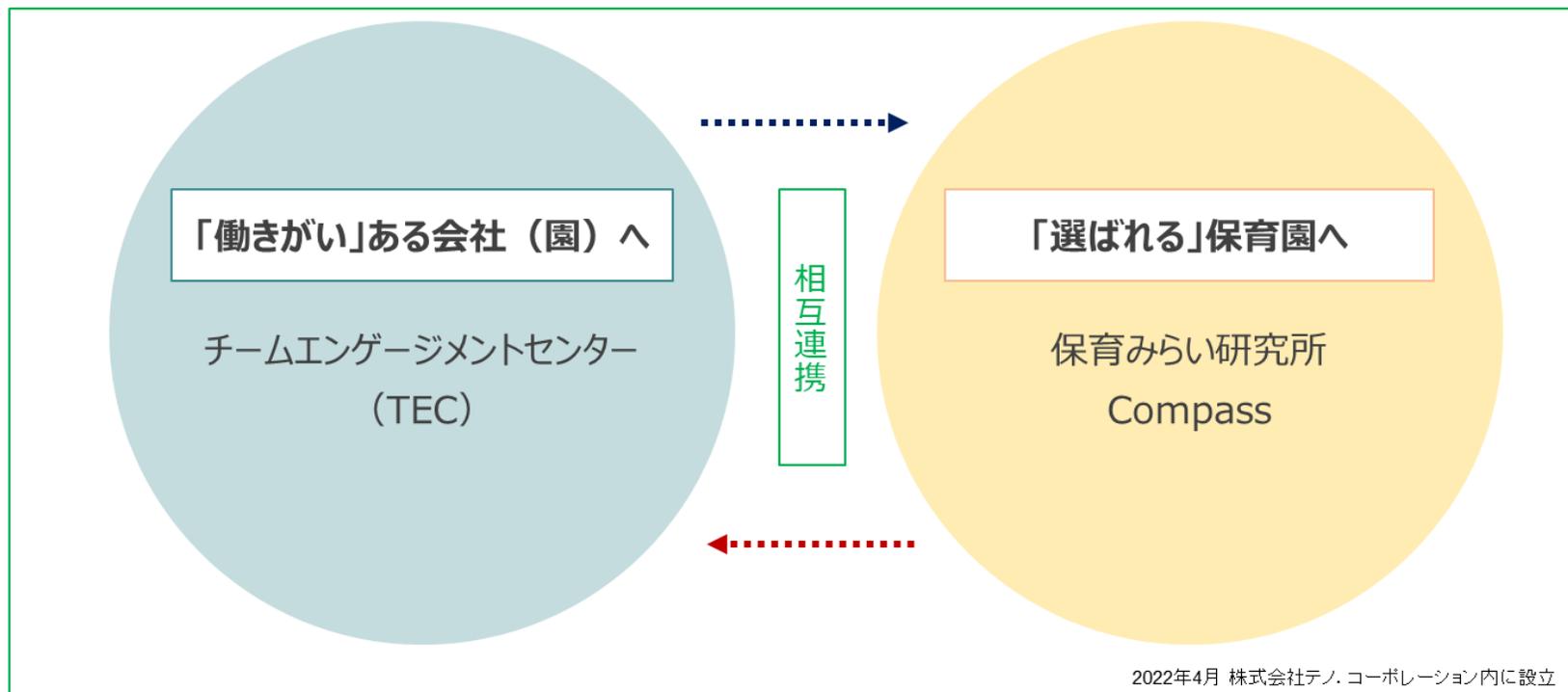
顧客・クライアント視点

- >便利で安心、行き届いた質の高いサービス
- >時代のニーズに合った付加価値の提供
- >テノ、グループのビジョンに共感でき、圧倒的な親近感があり、信頼できる組織
- >極めて透明な情報開示と財務の健全性
- >対価に対するサービスレベルが適切である
- >個々の組織やチームの運営がうまくまわっていることが、外部からもみてとれる

「teno VISION 2030」を実現するための取り組み

チームエンゲージメントセンター

保育みらい研究所 Compass



2つの取組みがバラバラに展開するのではなく、相互に連携しながらよりよい園（会社）づくりを推進していきます。

※1：TECとは、職員一人ひとりにとって「いきいき働ける会社」「働き続けたい会社」であるために、「働きがい」に着目し本部・保育園が一体となって企画・推進するプロジェクト組織です。

※2：「保育みらい研究所 Compass」とは、「保育園での豊かな実践の共有と学び合い」、「保育・教育・子ども子育ての専門家との共創」のためのプラットフォームです。

社会課題への取り組み

4 質の高い教育を
みんなに



質の高い教育をみんなに

技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



ジェンダー平等を実現しよう

公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。

8 働きがいも
経済成長も



働きがいも経済成長も

若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。

5 ジェンダー平等を
実現しよう

男女平等を実現し、
すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう

(経営理念)

私たちは、女性のライフステージを応援します。

私たちは、相手の立場に立って考えます。

私たちは、コンプライアンスを推進します。

私たちは、事業を通して社会貢献致します。

(ビジョン) 女性が活躍する社会の創造

(戦略) 女性が活躍する事業展開

テノ・グループSDGs行動計画

当社グループはSDGsの課題解決を重要な経営課題と捉え、ジェンダーに関係なく、個人のライフステージに合わせて働き続けられる社会の実現を目指し、国際社会が追求する社会課題の解決に貢献することで企業価値の向上と持続的な社会の実現に取り組みます。



テノ・グループは、「ジェンダー平等」にコミットします ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」のうち

5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯
・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。

テノ・グループの貢献	設定する指標 (KPI)	現状	数値目標
・従業員の男女隔てなく世帯・家族内における責任を担える環境を作ること で、家事労働を支援します。	・男女別育児休暇取得率	2023年 男性50.0% 女性98.3%	2025年 男性60.0% 女性 100.0%

5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

テノ・グループの貢献	設定する指標 (KPI)	現状	数値目標
・女性のリーダーシップの発揮の機会が担保され、女性目線でのサービス創出が強みになる社風を確立します。	・管理職に占める女性の割合 ※ () 内は現場含む数値	2023年 38.7% (84.9%)	2030年 50.0% (87.5%)

長期ビジョン「teno VISION 2030」による事業拡大イメージ

-事業拡大戦略-

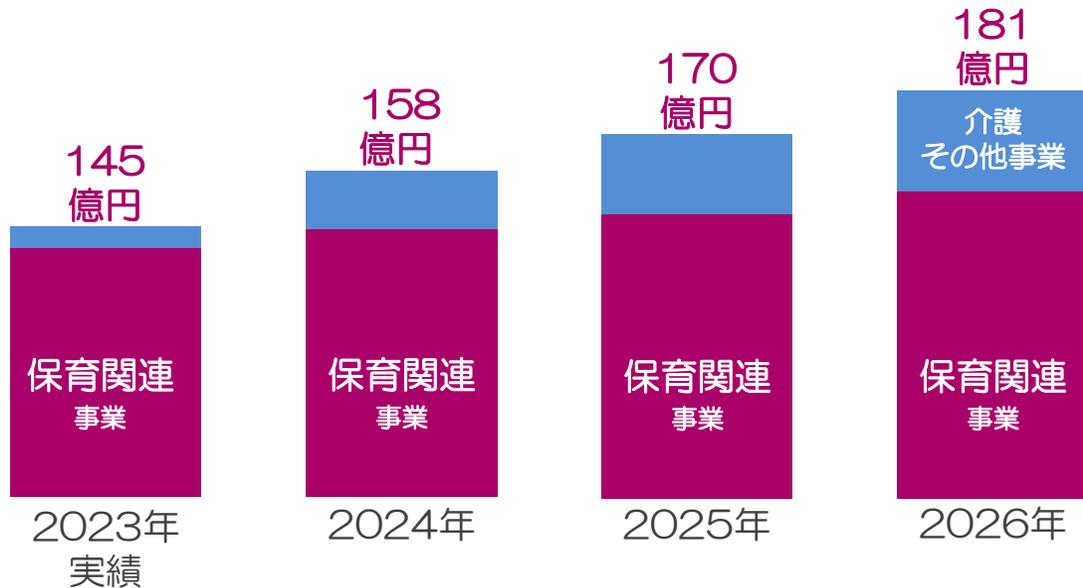
- 戦略1：保育関連事業の拡大
- 戦略2：新規事業の創出
- 戦略3：M&Aによる事業拡大

売上高

**500
億円**

介護・その他事業
売上高
約6割に拡大

**CAGR※
2桁成長**



※CAGR: Compound Annual Growth Rate 年平均成長率

Section 5

Appendix

年 月	事業活動概要
2023年1月	【M&A】 セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社の株式取得
2023年4月	【新規開設】 認可保育所（東京都中央区） 1施設（公的保育）
2023年4月	【組織再編】 連結子会社間の合併 存続会社：株式会社テノ。コーポレーション 消滅会社：株式会社テノ。サポート
2023年4月	【新規開設】 バイリンガル幼稚園「KDI福岡アイランドシティ」の開園を発表
2023年5月～	保育みらい研究所Compassの取り組み （海外交流プログラムの開始、保育園見学ツアーの実施、フィールドワークの実施）
2023年8月	【M&A】 株式会社ウイッシュの株式取得の決定（2024年2月に子会社化完了）
2023年7月～10月	第7回無償オンライン保育士講座を実施（2020年コロナ禍に開始）
2023年9月	キッズドクターの導入開始
2023年9月	地域交流イベント（テノ。フェスティバル）の開催
2023年11月	ホームメイドクッキング日本橋教室がオープン



保育みらい研究所Compassの取り組み

テノ、コーポレーションが運営する「ほっぺるランド」にて保育みらい研究所Compassの〈共創〉では、「選ばれる」保育園づくりを推進しており、当プログラムを通じて、「保育園での豊かな実践の共有と学びあい」を高めていきます。

※「保育みらい研究所 Compass」とは、「保育園での豊かな実践の共有と学び合い」、「保育・教育・子ども子育ての専門家との共創」のためのプラットフォームです。

海外交流プログラムの開始

- ほっぺるランドと各国をリモート中継し、国際交流を行い各国の文化に触れてもらう企画
- 実施期間 2023年5月～
- 実施施設 ほっぺるランド17園で実施中
- 交流国 オーストラリア、シンガポール、ケニアなど
- プログラムの概要 ほっぺるランドと各国の保育園をリモート中継し、子供たちが国際交流を行います。

保育園見学ツアーの実施

- ほっぺるランドで働く保育士が、他の園の保育を見学し、各園の強みを理解してもらうための企画
- 実施期間 2023年7月～12月
- 見学参加者 計130名
- 実施施設 ほっぺるランド6園にて見学会を実施。
- プログラムの概要 特徴あるの保育コンテンツを、他園の保育士が見学し、良い取り組みを自園の保育に活かします。

フィールドワークの実施

- 大学内の保育施設や区が運営する子育て支援センターを見学することによって、保育環境や取り組みについて学習する企画
- 実施期間 2023年9月～10月
- 見学回数・参加者数 4回・計26名
- ご協力施設
共立女子大学 子育てひろば「はるにれ」
お茶の水女子大学附属子ども園
渋谷区子育て支援センター「COしぶや」
- プログラムの目的 社外の保育環境を体験し、職員の視野を拡大し自園の保育に活かします。



(2023年7月~2023年10月)

第7弾

無償オンライン保育士講座

新型コロナウイルス感染症対策応援企画としては
第7弾目となる無償オンライン保育士講座を行いました。

累計登録者数は1,050名以上 視聴回数2万4千回（累計）を突破



(2023年9月10日)

第1回 テノ. フェスティバルの開催

227名参加

テノ. フェスティバルは、テノ. グループが運営する施設に携わる方がへ感謝を込めたレクリエーションイベントでございます。

その第1弾として、9月10日に当社グループが運営する学童保育施設に通われるお子様とご家族向けにスケートリンク貸し切りイベントを実施いたしました。

当日は227名もの方々にご参加いただきフィギュアスケートのエキシビション、カーリングやアイスホッケーの体験なども楽しんでいただきました。

これからも様々な企画でお子様・ご利用者の皆様に楽しんでいただきたいと思います。



(2023年9月19日)

キッズドクターの導入

株式会社テノ. コーポレーションは、株式会社ノーススターと連携し、小児のオンライン診療アプリ『キッズドクター』を通じて、保護者が保育園に預ける上で抱える健康不安を解決できる体制を構築いたします。

ほっぺるランドを利用されている保護者を対象に、チャット健康相談を無制限にご利用いただけるプランの導入を開始いたします。他にもコンテンツの共同作成や、子どもが体調を崩したときのお迎えの負担軽減に資する取り組みを順次実施しています。

\ 子どものオンライン診療アプリ『キッズドクター』が /
テノ.コーポレーションと連携!

teno. × キッズドクター
GROUP

保育施設に通う子どもの健康をサポートし、
保護者の負担を軽減する取り組みを開始





(2023年11月4日)

新規オープン

ホームメイドクッキング日本橋教室



■基本情報

名称：ホームメイドクッキング日本橋教室

オープン日：2023年11月4日

所在地：東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビルディングB1F

営業時間：10:00 - 20:30 (不定休)

最寄り駅：東京メトロ 銀座線・東西線
「日本橋駅」(徒歩1分)

■教室概要

料理教室 ホームメイドクッキング日本橋教室は、ホームメイドクッキングのフラッグシップです。B1Fの専用フロアでは「パン」「ケーキ」「ホームクッキング」「和菓子」「天然酵母パン」などの講座、体験レッスンを随時開催しています。



【お問合せ先】

株式会社テノ・ホールディングス

取締役管理本部長 岡田 基司

福岡県福岡市博多区上呉服町10-10呉服町ビジネスセンター5F

TEL : 092-263-3550 FAX : 092-263-3557

- 本資料に掲載する情報は、弊社の財務情報、経営方針、経営指標等の提供を目的とし、細心の注意を払って掲載しておりますが、掲載情報の完全性・正確性・安全性・その他についていかなる表明並びに保証を行うものではありません。
- 本資料には将来の見通しに関する記述が含まれております。これらは、現在入手可能な情報に基づき、弊社の仮定及び判断に基づくものであり、今後の経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定が将来実現しない可能性があります。
- 本資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 今後の新しい情報や将来の事業などの発生が生じたとしても、本資料に含まれる見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き必ずしも修正するとは限りません。